

令和4年 第9回教育委員会定例会会議録

- 日 時: 令和4年9月26日(月)10:00~11:10
- 場 所: 潮来市役所3階 第一会議室
- 教 育 長: 横田直樹
- 出席委員: 小松崎修平、塚本健二郎、飯田三矢子、茂木悦男
- 事 務 局: 埴教育部長、村田学校教育課長、五喜田指導室長、吉川生涯学習課長、大塚給食センター長
大川学校教育課長補佐、泉学校教育課係長

○ 傍聴者: なし

1 開 会

2 あいさつ

- ・横田教育長から開会挨拶
- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、本会議の成立を報告する。
- ・会議録署名人として塚本委員が指名された。

冒頭: 9月14日に潮来小学校・津知小学校統合等検討委員会が開催され、両校の統合時期について「令和8年4月1日を目安」として、方針が出されたことを報告する。また、3年越しの全国市町村交流レガッタ開催や市内小中学校におけるコロナウイルス感染症関連についての報告等について、学校長と確認等を行ったことを教育長から説明する。
その他、中学校の修学旅行の件、部活動地域移行や校務システムの導入等についても、教育長から報告を行う。

3 案 件

- 日程第1 報告第10号 令和4年度一般会計補正予算(第6号)の議会提出に対する同意の専決について

- ・村田学校教育課長、吉川生涯学習課長から説明する。
- 茂木委員: 県補助金で、フッ化物洗口等の補助を受け入れるようだが、フッ化洗口等について保護者や教職員に対する説明等はどのようになっているのか。

村田学校教育課長: 県歯科医師会についても推奨されている事業であり、8月30日に当該校において、教職員に対し県担当者から地元歯科医の同席のうえ、安全性を含め説明を実施しました。今後、11月中の実施に向け、保護者への説明についても計画しています。

茂木委員: 今回は、潮来小学校1校のみだが、今後、市内全校で実施する予定なのか。

村田学校教育課長: 県からは、そのような旨で聞いております。

教育長: 市町村により、いろいろな考え方があるようである。フッ化物の希釈等については、すでに希釈しているものを使用するため、安全性等については、担保されているものと考えている。

全員異議なく、原案のとおり可決した。

- 日程第2 議案第34号 潮来市部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について

- ・五喜田指導室長から説明する。
- ・教育長から市内部活動の状況等について、五喜田指導室長へ委員に対し補足説明するよう指示
- ・五喜田指導室長から市内部活動の状況(部員数、教職員の部活動にかかる時間数等を含め)説明する。
- 塚本委員: 部活動費について、費用(道具や備品等を購入するお金)はどのようになっているのか。
- ・五喜田指導室長: 保護者からの部費や各校教育後援会からの費用で賄っている状況です。
- 茂木委員: 主に土曜日、日曜日等の部分を地域移行として行うのか。
- ・五喜田指導室長: 国や県では令和7年度までを集中改革期間として、土日等における部活動の地域移行を進める方針です。

最終的には部活動について教職員から切り離すこととしているが、当面は土日等の部分となります

茂木委員: 地域移行した場合に、1箇所に集まって部活動を行うようになると生徒の送迎の問題もある。また、指導者等の問題もある。そういう部分について、共通理解を図りながら行うことが必要と考える。指導者には研修等も必要ではないか。

地域に移行するにあたり充分準備して実施してほしい。

塚本委員: 地域移行するにあたり指導にあたる方には、教育の部分もあるということを十分認識していただけるよう進めていって欲しい。

五喜田指導室長: これから保護者に対し、部活動の地域移行について検討するため検討委員会を開催することを伝えさせていただくとともに、アンケートを実施する予定です。また、検討委員会での検討している内容等についても伝えていく予定です。

地域移行における受け皿や指導者の資質等についても慎重に焦らず十分に検討していきます。

子どもたちに不利益にならないように配慮していきたいと考えております。

小松崎委員: 指導者の中には勝つためという指導と今後の子どもたちの育成のための指導という方がいる。できれば将来を見据える指導する方向で進んで欲しい。以前スポーツ少年団については、一気に教員は関わらないという方針が出された。国は今回の部活動地域移行については、子どもの数が少ないことや教職員が大変なので、地域と相談して進めていってほしい。といった感じがある。県の指導等では一気にやっていくといった方向ではないのか

五喜田指導室長: 通知等をみると、全部の部活動の地域移行は必須ではなく、まず令和7年度を目安に集中改革期間に向け対応を図ってください。といったものである。ただ、県においては、教員が部活動の指導を令和7年度以降は「0」できるよう通達が出されている。

茂木委員: 市内においても、熱心に指導している方もいるので、その掘り起しについて、教育委員会でも連携し対応をしてはどうか。

五喜田指導室長: そのような情報についても、現段階では十分に把握できていないので、いろいろな調整を図りながら、持続可能な状況を目指していきたいと考えています。

全員異議なく、原案のとおり可決した。

- 日程第3 議案第35号 潮来市教育行政評価委員の委嘱について

- ・村田学校教育課長から説明する。
- 全員異議なく、原案のとおり可決した。

4 教育長報告

- ・横田教育長から8月25日から9月26日までの諸行事報告が行われた。
- ・埴教育部長から前川人工芝サッカー場の流通経済大学、駒沢大学のサッカー合宿等について説明する。

5 業務事務日程について

- ・各課長から9月26日から11月30日までの行事予定について説明

6 教育委員会所管事項に関する質疑

小松崎委員:他市において、教職員の働き方改革の一環として留守番電話の導入が検討されていると聞くが潮来市ではどうか。

五喜田指導室長:本市においては、本年7月からすでに導入させていただいております。

塚本委員:牛堀地区の過疎指定についての子どもたちや保護者等の反応はどうか。

埴教育部長:人口の減少率を踏まえ国が指定するものであります。近隣市にも指定されているところもあります。過疎からの脱却するための計画を本市でも策定しました。1つのメリットとしては、過疎債を使用しての事業が展開でき、その過疎債の大半は交付金が充当されることで本市の財政的負担の軽減が図れ、地域活性化施策や人口増に向けた事業等が行えます。住んでいる方にとっては過疎といった言葉は、あまりいいイメージではないと思いますが、これをプラスとして捉え、まちづくりができるのではないかと考えています。子どもたちにとって、このことを理解することは難しいものではないかと考えます。

茂木委員:BSビヨンド東京で潮来市の良いところが発信されていた。気候も温暖で住むにはよいところだと思ふ。子どもたちにもマイナスイメージばかりでなく、潮来の良いところを伝えていくことも我々の役割だと思ふ。また、全国交流レガッタについて、全国から多くの方々に本市を訪れていただいた。生涯学習課の職員の方々には、準備の段階から大変であったと思ふ。

吉川生涯学習課長:委員の方々にも会場にお越しいただき、ありがとうございました。今後、レガッタ大会についてテレビ放映が予定されていますので、ご覧いただければと思います。

飯田委員:大学のサッカー合宿や全国交流レガッタ大会など多くの方々が本市を訪れていただいた。宿泊先などどのようにしたのか。また、宿泊などの感想を開ければ今後に繋がっていくのではないかと。潮来市のPRにも繋がるのではないかと。

埴教育部長:人工芝サッカー場の完成後、大会での宿泊や合宿等により1000泊程度、本市に泊まっていただきました。大学サッカー合宿では食事面について宿泊先ホテルと調整等を実施し、今後も引き続き、合宿を行っていただけるよういろいろな面でサポートをさせていただきました。宿泊していただいた方に聞き取り調査等を実施していますので、今後、役立てていきたいと考えています。

小松崎委員:潮来市において、前川人工芝サッカー場ができたことで、多くの方々が潮来市を訪れていただいていることは良いことであると思ふ。

7 その他

(1)潮来小学校・津知小学校統合等検討委員会について

村田学校教育課長から概要等の説明する。

- ・統合等検討委員会(9/14開催)において、両校の統合時期の目安を令和8年4月1日となった旨の説明

(2)校務システムの導入について

村田学校教育課長から説明する。

- ・鹿嶋市と共同調達に向け調整中であることを説明

- ・市内小中学校の教職員に向け、今後予定されている校務システムデモの実施について説明

(3)新型コロナウイルス感染症について

村田学校教育課長から説明する。

(4)次回の定例会の開催日程について

- ・令和4年第10回教育委員会定例会について、10月25日(火)に開催(予定)することを確認する。

8 閉 会

- ・横田教育長により閉会した。